

# 今回のご案内に関するQ&A

※お客さまのご契約内容によっては、該当しない項目もあります。

今回の  
対策に  
ついて

**Q1** どうして、このような対策を行うのですか？

**A1** 当行からのご案内や報道等でご存知の通り、インターネットバンキングを狙った不正行為が急増し、また手口も高度化しているため、お客さまの大切な財産をお守りするために必要な対策を取らせていただきました。

**Q2** 電子証明書方式にしたら、パソコンは1台に限定されてしまうのですか？

**A2** いいえ、電子証明書方式では、複数台のパソコンを利用することが可能です。(最大20台まで)

〈例〉 経理の統括者1名、経理の担当者が2名の場合、3台のパソコンで利用可能です。

## 設定方法

電子証明書方式はユーザー単位で利用するパソコンの登録が可能です。したがって経理の統括者他2名の方用に、ユーザー登録を行い、各々の方がご自身が利用するパソコンで電子証明書を取得します。  
※各々の方が登録したパソコンでのみログインができます。

**Q3** Mac OS Xのパソコンを利用していますが、電子証明書方式は利用できますか？

**A3** 申し訳ございません。Mac OS Xのパソコンは電子証明書を利用することができません。セキュリティを高めるために下記の利用方法をお勧めします。

①当日扱いの振込振替を行うために、定例の振込先(ご自身の当行・他口座も含む)を「②Web-ANSER入金指定口座登録依頼書」で登録し、受取人番号入力方式をご利用ください。(「②Web-ANSER入金指定口座登録依頼書」は同封の封筒で返送ください。)

②Web方式の限度額を必要最小限にします。(予約扱いの振込・振替のみ可能です。お取引店で手続きが必要です)

**Q4** Windows98のパソコンを使用していますが、電子証明書方式は利用できますか？

**A4** Windows95、Windows98、Windows Me、Windows NT、Windows 2000については、電子証明書が利用できない環境であり、Microsoft社(マイクロソフト社)のサポートも終了しており、セキュリティ対策が不可能なOS(オペレーティングシステム)です。ビジネスWebサービスでは、前述のOSは動作環境として推奨しておりませんので、Windows XP以上が動作するパソコンをご利用ください。

**Q5** 一日あたりの支払限度額とは？

**A5** 「一日」とはビジネスWebサービスのご利用時間(8時から21時)の範囲です。「支払限度額」とは「振込・振替のために指定した口座から払い出せる金額」です。

なお「一日あたりの支払限度額」は「操作日と口座」が基準になります。

※ビジネスWebサービスに登録されているお客さまご自身の口座間の振替も「一日あたりの支払限度額」に含まれます。

〈例〉 一日あたりの支払限度額が1,000万円の場合

同日に同じ支払口座から振込(振替)を行った場合	操作時間	支払口座	振込(振替)金額	操作結果	理由
	11:00	B口座	600万円	○	支払限度額オーバー (合計が1,100万円になっている)
	16:00	B口座	500万円	×	

同日に違う支払口座から振込(振替)を行った場合	操作時間	支払口座	振込(振替)金額	操作結果	理由
	11:00	B口座	600万円	○	支払口座が違うため (各々1,000万円を超えていない)
	16:00	C口座	500万円	○	

**Q6** 支払限度額が1,000万円までとありますが、1,000万円以上の振込みはできないのですか？

**A6** 今回の限度額引下げは、一日あたりの支払限度額のうち「Web方式の一日あたりの支払限度額」のみです。「受取人番号入力方式」につきましては、既にお届けの一日あたりの支払限度額までご利用可能です。

**Q7** 一日あたりの支払限度額は自分で確認できますか？

**A7** 振込・振替をする時のビジネスWebサービス内の画面で確認ができます。

一日あたりの支払限度額  
(Web方式はこの中に含まれますが、個別に確認することはできません)

本日の支払累積額  
(Web方式はこの中に含まれますが、個別に確認することはできません)

限度額  
引下げ  
について

**Q8 振込振替の「受取人番号入力方式」と「Web方式」とは？**

**A8** 「受取人番号入力方式」とは、事前にお客さまが専用の用紙で当行にお届けいただいた入金先（振込先）のみに振込振替できる方式です。お届けいただいた入金先以外には振込ができませんので、セキュリティが高くなります。  
 「Web方式」とは、ビジネス Web サービスの画面上の操作の都度、振込先等の金融機関名を検索し振込む方式です。画面上では「入金先個別指定（検索）」等から行う操作になります。誰にでも振込める利便性はありますが、不正アクセスを受けた場合、危険性が高くなります。

**Q9 「Web方式の振込・振替」とは、どの部分を指しますか？**

**A9** 「最近10回の入金先（個別入力分）」や「入金先個別指定（検索）」「入金先個別指定（コード直接入力）」「入金先口座一覧」で行う振込・振替がWeb方式になります。

The screenshot shows a banking interface with the following sections:

- 入金先選択画面[BKMO50]**: A table for selecting the account to transfer to, with columns for branch name (支店名), account type (科目), and account number (口座番号).
- 【最近10回の入金先(個別入力分)】**: A table listing recent deposits with columns for selection (選択), date (日付), financial institution (金融機関名), branch name (支店名), account type (科目), account number (口座番号), recipient name (受取人名), and transfer type (手数料).
- 【登録済み入金先口座】**: A section for registered recipient accounts with a search box for the recipient number (受取人番号).
- At the bottom, there are buttons for **入金先個別指定(検索)**, **入金先個別指定(コード直接入力)**, and **入金先口座一覧**.

Web方式の振込振替です。

**Q10 「受取人番号入力方式」は事前に届けた入金先（振込先）にしか振込（振替）できないので、不便ではないですか？**

**A10** Web方式に比べ新規の取引先への振込は不便になりますが、既取引先を登録しておくことで、安全を確保しつつ高額な振込を行うことが可能です。

**Q11 「Web方式」は使用しないほうがいいのか？**

**A11** 送金操作そのものにおいて「Web方式」が危険というわけではありません。  
 他行での不正事例を検証しますと、「不正にログイン→振込口座を指定（犯罪者の口座）→振込実行」という手口がほとんどです。このようなことから、今回のご案内の通り「Web方式の当日の振込・振替」については、不正アクセスに対する防御効果が高い「電子証明書方式」のみとし、「IDパスワード方式」の場合は「予約扱いの振込・振替」とさせていただきます。

**Q12 「受取人番号入力方式」と「Web方式」は、どのように使い分ければいいですか？**

**A12** 一般的には以下の組合せが考えられます。

- 「初めての振込先については、ビジネスWebサービスを利用しない（したくない）」お客さま。  
 ⇒「受取人番号入力方式」のみ（Web方式の限度額を1円で設定）
- 「既存の取引先（何回も振込んでいる取引先）」は「受取人番号入力方式」にしても構わないが、「初めての振込先」にもビジネスWebサービスを利用して振込みたい」お客さま  
 ⇒「受取人番号入力方式」+「Web方式」（必要最低限の限度額）
- 「受取人番号方式の書類を提出するのが面倒だ。でも「Web方式」では不安がある」お客さま  
 ⇒「Web方式（予約扱いのみ）」（必要最低限の限度額）  
 ※この場合当日の振込振替はビジネスWebサービスではできません。窓口のご利用をお願いします。

**Q13 「受取人番号入力方式」の利用方法を教えてください。**

**A13** 「受取人番号入力方式」の利用方法は次のとおりです。

- 入金先の登録：事前に、同封しています「②Web-ANSER入金指定口座登録依頼書」で入金先（振込先）の登録をお願いします。（7営業日程度で登録が完了します）
- 入力の場所：

This screenshot focuses on the recipient number input section:

- The **【登録済み入金先口座】** section shows a search box for the recipient number (受取人番号) with the value '045' entered.
- Below the search box, there are instructions in small text about selecting the recipient number.
- At the bottom, there are buttons for **次へ**, **入金先個別指定(検索)**, **入金先個別指定(コード直接入力)**, **入金先口座一覧**, and **中断**.

こちらが「受取人番号入力方式」の入力部分です。  
 ○をクリックし振込先の番号を受取人番号のボックスに入力します。  
 入力完了したら、下の「次へ」をクリックしてください。

**Q14 「受取人番号入力方式」の入金先（振込先）は何件登録できますか？**

**A14** 最大999件まで登録できます。  
 ※同封の「②Web-ANSER入金指定口座登録依頼書」をご利用いただく場合、件数が多い時は、裏面（お客さまの押印欄がない面）を必要枚数コピーしてご使用ください。